

令和元年度補正予算「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金（J-LOD）」第3弾 採択事業者（6月1日締切分）

\*五十音順

番号	事業者名	事業名	事業概要
1	株式会社Psychic VR Lab	リアル・バーチャル同時展示する、デジタルツインをキャンバスとした共創XRアート	新型コロナウイルスの影響を鑑み、利用客の減少した観光スポットとそこに足を運ぶことが難しくなった多くの人々のため、デジタルツイン化したキャンバスを用意し、クリエイター達と共にXRアート作品を作り上げ、複数の商業施設及び各バーチャルリアリティ会場にてリアル・バーチャル同時開催イベントを提供する事業。
2	松竹株式会社	MR（Mixed Reality）技術を用いた歌舞伎観劇体験コンテンツ制作	最先端の技術を活用し、世界無形文化遺産である「歌舞伎」の新しい没入体験を実現する次世代演劇コンテンツを制作する事業。
3	株式会社新潟放送	Magic Time TOUR in SADO	史跡「佐渡金銀山」において、MR体験ストーリーコンテンツを実際に体験していただくと共に、VR体験ストーリーコンテンツとして世界のどこからでもアクセスでき、歴史遺産に仮想旅行ができるプラットフォームアプリを開発・提供する事業。
4	一般社団法人日本eスポーツ連合	先進技術を使ったeスポーツ大会配信コンテンツの制作	コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインで盛り上げられるeスポーツの特徴を活かした新しい観戦スタイルを提唱すべく、ARや5G、AIなどの先進技術を用いたeスポーツの日本代表選考会を行い、配信コンテンツとして国内外に発信する事業。
5	株式会社ワントゥーテン	1→10羽田出島	「HANEDA INNOVATION CITY」に、日本の伝統美と最先端技術(MRや360度イマーシブプロジェクション等)を融合した体験型コンテンツを創設し、「開国しなかった日本」をテーマに国内外の来場者に「日本の美しさ・先進性を再認識させるきっかけ」を提唱する事業。